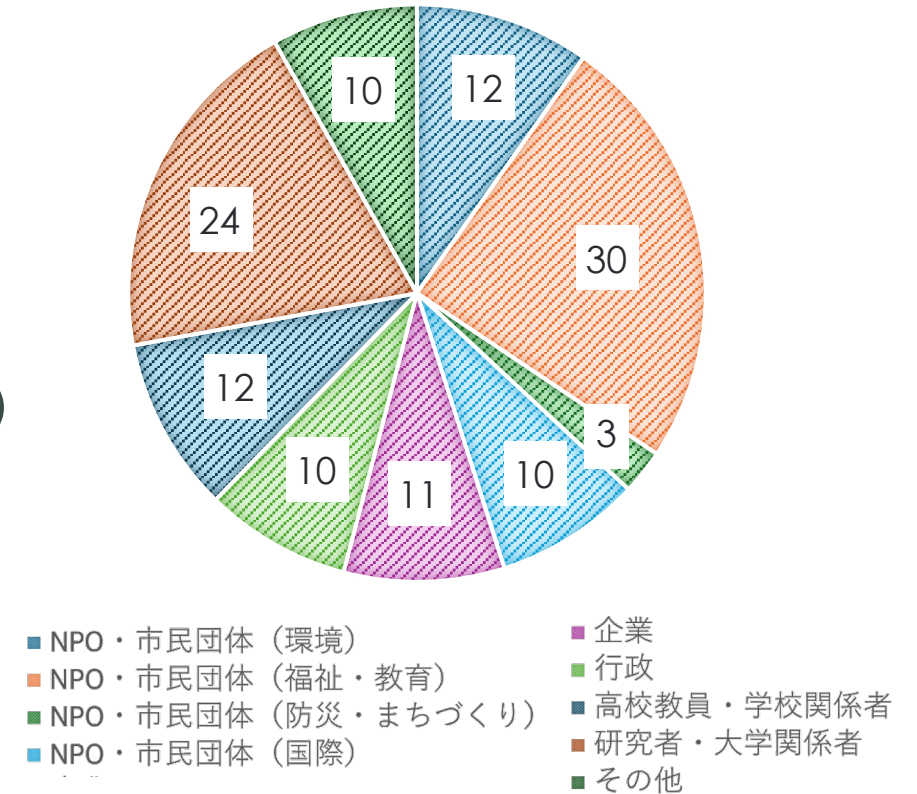


# RCE兵庫-神戸 2024年度の活動報告

# RCE兵庫-神戸（ESD推進ネットひょうご神戸）

- 教育機関、地方公共団体、市民団体、企業等のESD実践者が集い、兵庫県・神戸市等において、ESDを推進することを目的に2007年に設立。2025年2月現在、メンバー数は122名。
- 事務局は神戸大学HCセンター
  - 代 表：野崎隆一（神戸まちづくり研究所）
  - 副代表：西谷寛（海と空の約束プロジェクト）  
武田義明（ソーシャルデザインセンター淡路）
  - 監 事：長谷川俊（元川崎重工業株式会社）  
齋藤優子（日本生活協同組合連合会）
  - 事務局 長：高田知紀（兵庫県立大学）
  - 副事務局 長：後藤聡美（神戸大学）
- 運営協力組織：ESDプラットフォームWILL

\*メンバーの所属内訳



# 2024年度の主な事業（活動報告）

## 第7回ESD実践研究集会の開催（12/7, 8）

大会テーマ：「再開するESD、再会する実践者たち～〇〇〇のススメ～」  
NPO・市民団体、研究者、高校教員、高校生、大学生・院生など95名が参加。

## ESDスタディツアープログラムの運営（通年）

甲南女子大学GCP（グローバル・シティズンシップ・プログラム）や神戸大学ESDコースなどのフォーマル教育との連動。のべ252名のユース・市民が利用。

## ユースチーム（ESDプラットフォームWILL）との連携

ユースチームのメンバーが推進ネットメンバーのフィールドに訪問し、ともにESDプログラムをつくるコラボレーションが生まれている。（吉良農園など）

※2022年に立ち上げた日本福祉教育・ボランティア学習学会課題別研究「SDGs運動を組み合わせ実践論の探求」の最終報告を2024年11月の研究大会において実施。（研究成果は2025年11月発行予定）

# 2025年度の主な事業（計画）

## ESD実践研究集会の開催

- ▶ より多様な市民・ユースの参加を想定した企画づくり

01

02

## ESDスタディツアー プログラムの検討・刷新

- ▶ 利用者数の増加と、ポータルサイトの機能の充実を図る

## 報告書・論文集の発行

- ▶ 関係者による報告とESD実践に関する論考をまとめ発行する

03

04

## ユースチームと連動した 「ESD運動の拠点」の立ち上げ

- ▶ 大学(事務局)と推進ネットメンバーのもつリソースを活用し、多様な人・団体が交差する場・イベントスペースを立ち上げる予定(2025年夏ごろ)

# 成果と課題

## 01

### 新たなステークホルダーの参入

特に、高校教員のメンバーが増加傾向にある

課題：より多様なステークホルダーの参加を意識した交流の場づくり

## 02

### フォーマル教育とノンフォーマル教育の媒介

高校の探究学習や大学のフィールドワーク演習等と推進ネットメンバーの実践をつなぐ役割を果たしつつある

課題：学生および実践者双方のフィードバックを含むリフレクションの機会の創出

## 03

### RCE Awards 2024（ユース主導部門）の受賞

兵庫・神戸のみならず、国内外さまざまな地域のニーズに対応する活動を展開するユースチームをサポートしつつ、新たな協働の形を検討している

課題：ユースチームと連動したプラットフォームとしての役割の強化

# \* 活動事例：第7回ESD実践研究集会

## 再開するESD、再会する実践者たち～〇〇〇のススメ～

### 目的

阪神・淡路大震災から30年、昭和100年、SDGsの達成目標の2030年まであと5年、というさまざまな節目となる2025年を迎えるにあたって、過去を振り返り、どのような実践を展開すべきか（何を進め、何を推奨していくのか）を議論する。

### 成果

- ① ESD推進ネットひょうご神戸メンバーの関係性のつなぎ直し
- ② RCE兵庫-神戸（推進ネット）全体として取り組むべき課題の提案と共有
- ③ 推進ネットメンバーとユースチームの新たなコラボレーションの創発

### プログラム概要

- ・ イントロワークショップ「100年前から振り返る」
- ・ ESDリレートーク「わたしの〇〇〇のススメ」
- ・ 分科会
  - ① 5年後／② 30年後／③ 100年後の未来を描く
- ・ シンポジウム「〇〇〇のススメ」

